

地震からあなたを守る!!

9月1日は防災の日

これだけの備えは

ぜひ必要

“地震、かみなり、火事、おやじ”——ある日、突然、何の予告もなしに襲ってくる地震の恐ろしさは昔も今も変わりありません。

わたしたちは、地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限にいとめることはできます。そのためには、地震に対する正しい知識を持って、日ごろから、いざというときの物心両面での準備を怠らないようにしましょう。

家具類は壁や柱に固定

洋服ダンスや本棚、食器戸棚などが倒れたり、棚のものが落ちてきて死傷者を出すケースがあります。これらの家具はL字型の金具などで柱や壁にしっかりと固定しましょう。

家具の中でも、がん丈で大きな

欠かせない消火器

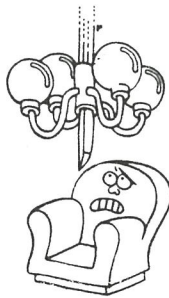
消火器は、ぜひとも備えておきたいもの。また、ふだんからバケツに水をくんでおいたり、いつも

重い物は上に置かない

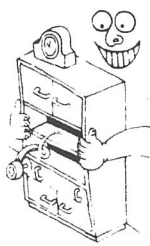
室内の有効利用でスペースを広く——とばかり物を上へ上へと積むのは危険です。家具や棚の上におかれたテレビや装飾用の置き物、ガラス器具など重い物や鋭利なものは、腰の位置より低い所に

“降る凶器”に要注意

天井や壁に取り付けた照明器具類、時計、装飾品などは地震時には“降る凶器”に一変します。



テーブルや食卓、机などは安全で、いざというとき、これらの下にもぐりこめば家具の転倒や落下物から身を守ることができます。



風呂に水を張っておくと、いざというときに役立ちます。

置くようにしましょう。

また、家具類の収納物も、重い物を下に入れて重心を下げる工夫が大切です。



堅固に見えるシャンデリアも取り付け方によっては危険な落下物。ガラスの破片で思わぬ負傷をすることがあります。留め具などの点検をお忘れなく。

“家族防災会議”を

グラツときたとき、家族全員があわてず行動できるように、ふだんからよく話し合い、それぞれの行動分担を決めておきましょう。火の始末をする人、老人、子供をつれて逃げる人、非常持出し袋を持つ人など、月に一度はみんなで役割を確認しましょう。

そろえたい救急医薬品

災害時には、負傷したり、やけどを負ったり、煙で目をやられたりします。そんなときのために、次のような救急医薬品を用意しておくとお便利です。

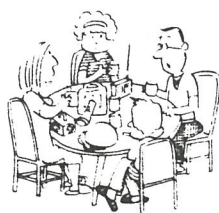
キズ薬、消毒薬、目薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯、三

可燃物は安全な場所に

不意に襲う地震の恐怖は、消火の手を遅らせがちです。延焼の原因となるような可燃物——灯油、食用油、ペンジン、ヘアスプレー、殺虫剤、塗料など燃えやすい日用品は火を使う器具から遠ざけて、しっかりとふたやせんをして安全なところに保管しましょう。



また、避難場所を決め、家族がバラバラになったときなどの連絡方法も、ふだんから打合わせておきましょう。



角布など。

また、応急手当の方法も身につけておきましょう。

